

東京大学医学部附属病院に通院中または入院された方、

およびそのご家族の方へ

東京大学医学部附属病院看護部における勤務経験がある

看護師の方へ

質の高い医療を提供するためには、質の高い看護が欠かせません。看護の質とは「患者中心の看護」「人間関係」「専門職性」「管理者の理念」「チームワーク」「病床環境」「看護の継続性」「看護提供システム」の8つの属性に分けられると報告されています。日々の看護業務では個々の患者さんに対し、看護計画を立案し、その実践を記録し、振り返ることは行っておりますが、更なる看護の質の向上を目指し、このたび研究として看護の質の評価に取り組むことといたしました。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、
○診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合
○研究への協力を希望されない場合、あるいは協力を途中でおやめになりたい場合は2026年4月30日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】
大学病院における看護の実態と質の可視化：後ろ向き観察研究

【研究機関名及び自機関の研究責任者氏名】
この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。
研究機関 東京大学医学部附属病院
研究責任者 看護部長 武村雪絵
担当業務 研究計画立案・データ取得・データ解析

この研究に利用する情報は上記研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】
承認日 ~ 2029年03月31日

【対象となる方】
2017年4月1日~2025年12月31日までの間で
① 東大病院に通院または、入院し診療録がある患者
② 東大病院に勤務の経験がある看護師

【研究目的・意義】
看護の質を可視化することは、それらを客観的に評価することです。客観的に評価することができれば、看護の質向上につながると考えられます。そこで今回は、診療録、業務記録など既存のデータを用いて様々な角度で解析し、現状提供している看護の質を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】
診療録および看護業務日報や業務のために取得されたアンケートなど既存の情報を解析します。(対象となる方に新たにさせていただくことはありません。)

研究のために取得する項目
[診療録より]

国籍、言語(母国語)、職業、患者ID、氏名、年齢、日齢、在胎週数、修正週数、性別、身長、体重、診断名、家族情報(同居・別居)、付き添い者情報(続柄や職業)、通訳の有無、院内で使用した翻訳ツール、第三者(大使館など)介入の有無、文化、滞在期間、宗教、慣習、自宅から病院までの距離、現病歴・治療歴、既往歴、通院間隔、救急外来診療状況、入院期間、ICU入室期間、入院病棟、ベッド番号(=ベッドの位置)、インシデント・アクシデントレポート内容、保険の種類および利用状況、医療券の使用状況、緊急度(トリアージ判定)、看護度・日常生活自立度、認知機能、内服管理状況、排泄状況、静脈路確保困難の有無、退院困難理由、退院支援の連携先、退院先、退院支援に要した日数、入退院支援にかかる診療報酬算定項目、母(患児における)の情報(年齢、妊娠出産回数、既往歴、母体疾患、保健指導状況、母乳外来状況)手術記録(手術時間・麻酔記録含む)、分娩記録、看護記録(看護計画・アセスメントシート含む)、コードブルー・Rapid Response Systemの発生時間・部署・要請理由・転帰、インフォームドコンセント記録、他職種(医師・薬剤師・PT・栄養士等)の記録、転院先、診療情報提供書、診断書、カンファレンスの記録(退院支援・褥瘡・栄養・RRSおよびコードブルー対応等)、つらさスクリーニングシート・せん妄アセスメント

シート・褥瘡アセスメントシート・クリニカルパス・パルトグラムの内容、患者スケジュール（処置・看護指示・患者掲示板情報）、検査オーダー入力時間、重症指示書、継続指示・注射指示、医療機器の使用状況・設定、spontaneous awakening trial (SAT)、spontaneous breathing trial (SBT) 状況、Home oxygen therapy (HOT) の導入有無、輸液ポンプの利用状況、透析記録、入退院支援内容、使用薬剤、埋め込み型補助人工心臓装着患者が記載している事前指示書、授乳に関する情報（種類、乳首の種類、授乳量、開始日、時間、哺乳力）、患者が記入した問診票・自己評価表・質問紙・バースプラン・レビュー（疾患や新生児・分娩への気持ち等）、離床状況、排便回数、便性状、食事内容、食形態、食事・経管栄養摂取量、水分バランス、腹部膨満感、嘔気、排ガス、NRS（呼吸苦の程度）、疼痛の程度、熟眠度、口腔内の状況、呼吸状態、画像検査所見、創部の体表写真、バイタルサインの数値、SpO2、血液ガスデータ、血球算定検査値、免疫学的検査値、内分泌・腫瘍検査値、血液生化学検査値、血中アンモニア値、炎症反応検査値、身体組成、握力、EF 値、Short Physical Performance Battery (SPPB)、EuroQol (EQ-5D)、Richmond Agitation-Sedation Scale (RASS)、血糖関連指標

[看護師の業務のために取得された情報より]

年齢、看護師経験年数（免許取得後経験と当該部署での経験年数）、看護師性別、各領域別看護経験年数、異動希望の有無、新人受け入れ体制評価項目、研修受講状況及び提出した課題、キャリアラダー評価、社会人として基盤となる能力評価

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料・情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

取得した資料・情報等は、氏名、生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。

鍵のかかるロッカー等で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、看護部研究担当部署においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先に2026年4月30日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベースで公表します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、研究責任者が紙媒体はシュレッダーにかけ、電子媒体は適切な方法でデータを消去することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた情報の管理の責任者は下記の通りです。

情報の管理責任者

所属：東京大学医学部附属病院 看護部

氏名：武村雪絵

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、大学運営費から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2026年 2月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：武村雪絵

東京大学医学部附属病院 看護部長

連絡担当者：阿部麻里

東京大学医学部附属病院 看護部

113-8655 文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院

電話：03-5841-5411

Mail：kenkyu.utokyo.nursing@gmail.com